

T-Engine フォーラムが「ユビキタス ID 技術を用いた
統合型食品トレーサビリティシステム」の実証実験を実施

2004 年 6 月 23 日

T-Engine フォーラム

<http://www.t-engine.org/>

T-Engine フォーラム（所在地：東京都品川区、現会員数：412 社、会長：坂村健・東京大学教授）は、ユビキタスコンピューティング社会の実現に向けて、モノや場所を自動認識し、それにくくりつけられた情報を使ってサービスする、ユビキタス ID 技術の研究開発を進めております。平成 16 年度より、株式会社三越（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：中村胤夫）、株式会社京急ストア（所在地：東京都大田区、取締役社長：照井稔）等と共同で、当フォーラムが推進するユビキタス ID 技術を用いた、統合型食品トレーサビリティシステムの実証実験を実施いたします。この実証実験は、農林水産省「平成 16 年度食品トレーサビリティ開発事業」として実施されるものです。

T-Engine フォーラムでは、昨年度、大根とキャベツを対象とした、「青果物トレーサビリティシステムの実証実験^{※1}」（農林水産省「平成 15 年度食品トレーサビリティ開発事業」）を実施いたしました。本年度は、この成果をベースとして更に実験の規模を拡大し、トレーサビリティシステムの実用化を見据えた実証実験を実施します。本実験では、野菜だけではなく、果物、豚肉、加工食品等、様々な品種を扱います。また、生産段階から流通、販売、消費の各段階において、トレーサビリティ情報の記録や参照を可能にいたします。技術的には、ユビキタス ID 技術を用いた最先端の超小型 RFID や小型端末ユビキタスコミュニケーションだけでなく、既存のバーコードなども利用できるように組み入れることで、低コスト型システムも構築し、実用化に向けた取り組みを行います。これにより、消費者の方々に安全な食品を安心して食べて戴き、生産者の方々には高品質で安全な食品づくりを手助けし、その想いを消費者の皆様にお届けすることを積極的にサポートしたいと考えております。生産地における情報の記録実験を、今秋より実施し、店舗における実証実験を今冬に実施する予定です。

なお、本年度、農林水産食品産業トレーサビリティシステム協議会が実施いたします「ユビキタス ID と連携する多様な品目と流通形態に対応した食品トレーサビリティシステムの実証」プロジェクトとも連携し、ユビキタス ID センターのオープン型の統合機構を活かしたトレーサビリティシステムの標準化にむけて取り組みます。

主実施組織

- T-Engine フォーラム、ユビキタス ID センター（所在地：東京都品川区、会長：坂村健）

参加予定組織（50音順）

- 株式会社京急ストア（所在地：東京都大田区、取締役社長：照井稔）
 - 株式会社サン・フルーツ（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：石塚誠一）
 - 東京大学大学院情報学環坂村健研究室（所在地：東京都文京区）
 - 株式会社二幸（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：大野昭一）
 - 株式会社ミートコンパニオン（所在地：東京都立川市、代表取締役社長：阿部徳次）
 - 株式会社三越（所在地：東京都中央区、代表取締役社長：中村胤夫）
 - YRP ユビキタスネットワークング研究所（所在地：東京都品川区、所長：坂村健）
- 等

*1) 青果物トレーサビリティ実証実験（平成 15 年度）

<http://www.t-engine.org/news/pdf/TEP040106.pdf>

本件に関する問合せ先

T-Engine フォーラム

電話：03-5253-2270（YRP ユビキタスネットワークング研究所内）

E-mail：press@ubin.jp

担当：越塚、伯田